

有珠山 1

有珠山周辺の傾斜変動

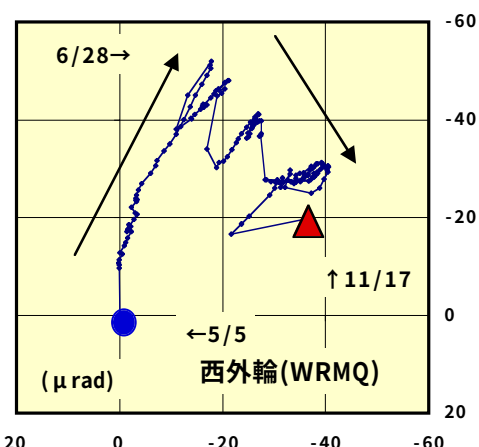
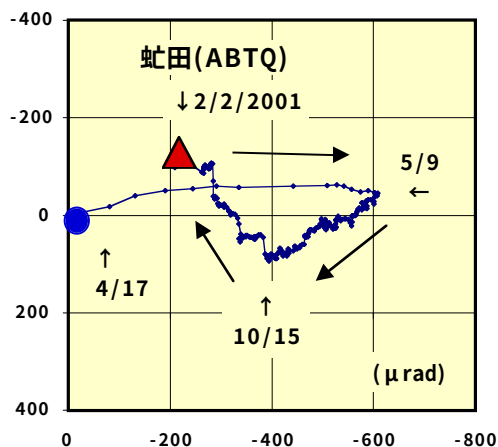
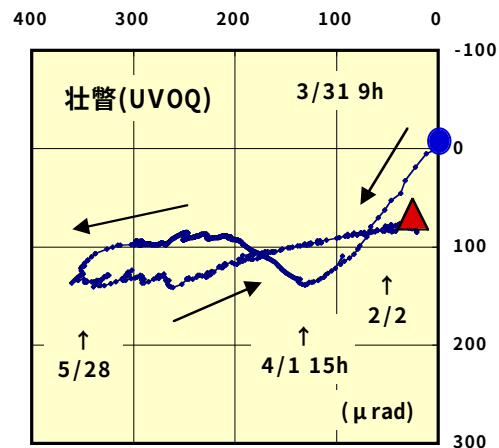
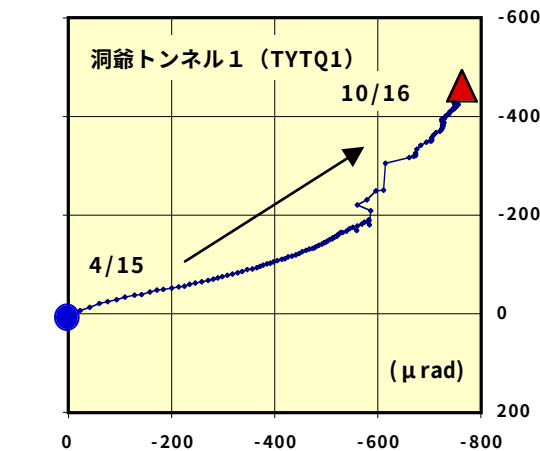
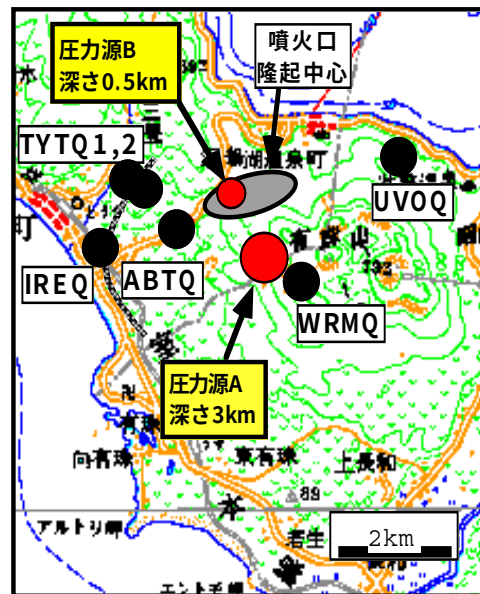
九大SEVO・東大ERI・北大UVO

九州大学地震火山観測センターは東大震研・北大有珠火山観測所と共同で有珠山の周辺に気泡型傾斜計を設置し観測を続けている。

有珠火山観測所(UVOQ)では3月31日9時から観測が開始され、 $170\ \mu\text{rad}/\text{day}$ という急激な南西隆起の変動が観測されたのち、西側隆起に変わった。その他の地殻変動データも含めて、2つの圧力源が推定された。

それぞれの傾斜観測点は5～6月にかけて反転を開始し、現在も圧力源が収縮する方向に沈降を続けている(UVOQ, ABTQ=約 $1.5\ \mu\text{rad}/\text{day}$, WRMQ=約 $0.3\ \mu\text{rad}/\text{day}$)。

洞爺トンネルの傾斜ベクトルは、圧力源方向とは異なり、北東隆起を続けている。これはこの付近が横ずれ成分を含む地殻変動フロントにあたるため、ブロック状の動きをしているものと考えられる。



傾斜ベクトル図(隆起方向)

●:観測開始 ▲:最新データ